

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

2					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあいにおいて、色々なイベントなどの情報を収集して参加しているが、地域と日常的に交流の場面で、地域の人が日常的に立ち寄りたり、しての交流が少ない。毎年お願いに行っているが、同じ部落の人が入所していないなどのこともあり、難しい。	自治会は入所が難しいとの回答なので、地域にこちらから、出かけていき、人間同士の交流を目標に地域のひとに、働きかけてみる。	天気の良い日に、地域の中を散歩がてら歩いて地域の人たちと言葉の交流を持つ、その上で、園にも色々な催しがあることや、交流をして行きたいことを発信してみる。	7ヶ月
2	17	入浴を楽しむことができる支援において、以前は男子のかたが、女の後には入りたく無いとの問題があり、話し合いの結果、公平にするために札を掲げていた。団体生活なので、不満があると、両者の意見を聞き、決めごとが必要であった。	どちらかの風呂が毎日沸いているので、本人たちが入りたい時は、毎日入る事も支援しているが、一人で入れる人がいないので、午後に集中しているが、午前も入れる日を作っていく。	入所者の意見も聞き取り調査を行い、把握を行う。また、スタッフの意見も聞き、時間調整などを行い、ニーズに応えられるようにしていく。	3ヶ月
3	20	居心地よく過ごせる居室の配慮のところ、家族会や面談の時、新聞などをお願いしているが、数人の家族のみ協力が得られている。殺風景な部屋の方がいらっしゃる。	大きな家具などの購入は予算的に難しいが、花やタペストリーなどで、部屋をしつらえてみる。	花や家族の写真を飾ったり、臭いなど出来る工夫をスタッフとも協議しながら、心地良い部屋作りを行う、とともに、家族にも折あるごとに働きかけて行く。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。